

## 1 概要

本校は、昭和24年4月に大阪市立生活科学研究所附設栄養学院として創立された。

当時は、終戦直後の混乱期で、極度の食糧不足により市民の栄養状態は非常に悪く食生活の管理や向上に携わる栄養改善のための指導者の養成が急務であった。そのため創立時は、厚生大臣指定の栄養士養成施設として1年制でスタートしたが、昭和25年4月に栄養士法の改正に伴い2年制となった。また同年9月には、研究所の改称により衛生研究所附設栄養学院となった。

その後、昭和49年12月に研究所の新築移転、改称に伴い、本校も環境科学研究所附設栄養学院と改称した。

昭和51年に学校教育法が一部改正され専修学校制度が発足し、本校は同年12月に文部省令による認可(専門課程)を受け、昭和52年4月から大阪市立環境科学研究所附設栄養専門学校と改称し、現在に至っている。

また、専修学校の専門課程の修了者に対する専門士の称号の付与に関する規定(平成6年6月21日文部省告示第84号)の制定に伴い、本校課程を修了した者に対して、専門士の称号を授与することが認可(平成7年1月23日文部省告示7号)されたので、平成7年3月卒業生から専門士(衛生専門課程)の称号を授与することとした。

本校創立以来、平成21年4月で60周年を迎えたが、その間にわが国の社会・経済情勢は大きく変化し、食生活をめぐる状況も食糧不足の時代から供給過剰時代へと著しい変貌を遂げた。その結果、国民の体位は改善され、平均寿命に関しては世界のトップになった。しかし、その反面、過剰栄養や栄養のアンバランスに起因する生活習慣病や肥満などの増加や、朝食の欠食、不規則な食事などの食生活習慣の問題が生じ、人びとが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための食育を推進することが重要となってきた。本校は、このような生活環境の変化に対応しうる食生活の指導者である栄養士を養成するために、不断にカリキュラムの見直しを行い、その時代の要請に即応した専門知識、技能及び、教養を修得させる教育を行ってきている。

また、学校教職員は、健康指標からみた食生活調査や栄養改善のための基礎資料となる研究を行うと同時に、行政機関が主催する各種講習会に講師とし

て参加し、地域住民等への正しい食生活、栄養知識の普及啓発に当たっているほか、栄養士等の卒業教育にも力を注いでいる。

## 2 業務および行事

### (1) 入学式

平成23年4月5日に、第63回入学式を環境科学研究所2階大会議室において挙行了。新入生は32名、第2学年に進級した者(第62回生)は31名で、在籍者は復学者を含め65名になった。

### (2) 修業

前期授業 4月7日から7月13日まで

前期試験 7月19日から7月29日まで

後期授業 10月3日から1月27日まで

後期試験 2月1日から2月9日まで

### (3) 卒業式

平成24年3月9日に第62回卒業式を環境科学研究所2階大会議室において挙行了。卒業生は28名で、学校創立以来の卒業生総数は2,367名となった。

### (4) 校外実習および見学

この実習および見学は、栄養教育および給食管理の実際を実地に修練し、また教育課程に関連した施設を実際に見ることによって、栄養士として具備すべき知識および技能全般を体得させることを目的としている。

#### ア 校外実習(臨地訓練)

厚生労働省の実施基準では、給食管理として学校・事業所において1単位以上とされているが、本校では、2年生を対象に臨床栄養学実習、公衆栄養学実習、給食管理実習として病院2単位、社会福祉施設1単位、市立小学校1単位の臨地訓練を行った。

実施に際しては、学生を数名ずつのグループに分けて実習先に配属した。実習終了後、報告会で発表させ、さらにレポートを提出させた。

### (7) 学校実習(平成23年6月13日から6月17日まで学生出身校11校、大阪市内小学校8校において31名)

平成23年度から、学生の出身小学校等に受入を依頼したところ、11校の承諾を得た。残りの学生は例年通り市内の小学校に依頼した。

(出身校等:11名)

石川県加賀市立山代小学校、大阪市立友渕小学校、大阪市立玉川小学校、茨木市立水尾小学校、茨木市立穂積小学校、島本町立第二小学校、寝屋川市立池田小学校、大東市立四条小学校、八尾市立八尾小学校、和泉市立池上小学校、愛媛県伊予市立郡中小学校

(大阪市内校:20名)

真田山小学校3名、天王寺小学校2名、小松小学校2名、北鶴橋小学校2名、平尾小学校2名、矢田北小学校3名、巽東小学校3名、新森小路小学校3名

**(イ) 社会福祉施設・保育園・保健福祉センター実習(平成23年8月1日から8月5日まで14施設において31名)**

ひまわりの郷2名、おとしよりすこやかセンター西部館2名、香里寿苑2名、加寿苑2名、玉出保育園1名、ひかり保育園1名、めぐみ保育園1名、山之内保育園2名、こひつじ乳児保育園2名、博愛社保育園1名、ヨルダン保育園1名、北区保健福祉センター4名、東淀川区保健福祉センター4名、東住吉区保健福祉センター5名

なお、実習期間中に体調不良で実習を受けることができなかった学生1名について、平成24年2月20日から2月24日まで、おとしよりすこやかセンター西部館で実習を受けた。

**(ウ) 病院給食実習(平成23年8月29日から9月9日の間で10日間、10病院において31名)**

(独)大阪医療センター4名、貴島中央病院2名、日生病院2名、住友病院3名、大阪赤十字病院4名、枚方公済病院3名、京都桂病院2名、大阪市立大学医学部附属病院3名、市立総合医療センター4名、市立十三市民病院2名、市立住吉市民病院2名

**イ 施設見学**

平成23年度に実施したものは次の通りである。

- ◎「EN家(アマダ本店:京都)」七味トウガラシ作り体験(平成23年4月30日=1・2年生)
- ◎「アサヒビール吹田工場」「サントリー山崎蒸留所」見学(平成23年11月4日=2年生)
- ◎「敦賀昆布館」(福井県)見学、「ゆのくにの森」(石川県)絵付け体験、「小牧かまぼこ」(福井県)見学(平成24年3月12日・13日=1年生)

**(5) 栄養教室**

学生が日頃学んでいる教科や学習の内容を学生のご家族の方々に理解していただくと共に、栄養の知識を普及し、栄養指導の実践を体験してもらうことを目的に「栄養教室」を開催した。

「飛び出す食のテーマパーク」と題して、大人が楽しく体験する食育をテーマとして、平成23年11月11日に栄養指導を行い、昼食には「大人のお子様ランチ」と題した献立を提供した。また、11月12日には学校の近くにある桃陽小学校の児童とその保護者に対して親子教室を行った。

**(6) 特別研究(食育に関する研究)**

今年度に入學した学生より、これまでカリキュラムの特別研究として実施していた卒業研究を廃止し、1年前期から2年の後期のすべての期間を使って、食育に関する研究を特別研究の授業として行うこととした。

1年生は、12、1月に実施する保育園や幼稚園の園児に対する食育活動に向けて、食育に関する講義を受けた後、食育に用いる教材の作製、園児に見せる劇のシナリオやクイズの作成などの準備作業を行い、下記の日程で、食育活動を行った。

○保育園児対象の紙芝居や創作劇

学生が保育所及び幼稚園に出向き、3・4・5歳児を対象に各年齢別に食育に関する紙芝居や創作劇を行った。

1. 平成23年12月12日、日の出さなだやま園3歳児32名、4歳児25名、5歳児18名
  2. 平成23年12月13日、味原幼稚園3歳児20名、4歳児22名、5歳児18名
- 本年度は、12月の経験と教材を生かし、1月にも次の保育所及び幼稚園で活動を行った。
3. 平成24年1月12日、たにまちナーサリー3歳児19名、4歳児15名
  4. 平成24年1月18日、四天王寺夕陽丘保育園3歳児30名、4歳児30名、5歳児30名

○保育園児対象の調理実習

保育園5歳児が来校し、調理室において調理体験を行う。実習中に、栄養についての話やクイズ等の食育活動を行った。

1. 平成23年12月13日午後、日の出さなだやま園園児 9名

2. 平成23年12月14日午前、味原保育所園児14名、午後、同13名
3. 平成23年12月15日午前、天王寺保育所園児9名、午後、同9名
4. 平成23年12月16日午後、日の出さなだやま園児 9名

その後、各活動について報告会を開催した。



### (7) 体験入学

平成24年度入学試験の受験者を募集するのに先立ち、高校生を始め社会人までを対象に、体験入学を実施した。本事業の目的は、参加者に模擬授業を行い、学校の教育方針、内容、水準などを知ってもらうとともに、栄養士の業務を理解してもらい、本校受験の参考としてもらうためである。

本年は、平成23年7月30日(土)および平成23年8月9日(火)の午前10時～午後3時に、以下の内容で開催した。

- 10時～11時 オリエンテーション
- 11時～12時 模擬授業「食品の色いろいろ」
- 13時～15時 コース別実習
  - ・調理実習「キッシュ」、「ゼリー」
  - ・コンピュータによる栄養価計算

・食品学実験「食品に用いられる色素について」  
募集人数は各開催日に45名とした。

実際の参加者は、7月30日が17名、8月9日が17名、合計34名であった。

### (8) 入学試験

平成24年度入学生(第64回生)を選抜する入学試験は、次の日程で行った。平成23年11月23日に推薦入試の試験と面接を行い、書類審査を含めた総合判定のうえ、12月2日に合格者2名を決定し通知書を発送した。なお、推薦入試は、平成22年度に実施した試験より、小論文方式に変更している。

また、平成24年2月11日に一般入試の学科試験(数学[数学I、数学A(確率のみ)]、生物I、化学Iから1科目を当日選択)を実施し、同日に学科試験受験者40人に対して面接試験を行った。翌週2月16日に合格者33名を発表した。

平成23年度入試の出願者は推薦2名、一般42名で、競争率は推薦1倍、一般1.4倍であった。

### (9) 第62回卒業生の就職状況

平成24年3月9日に卒業した第62回生(28名)の就職状況は次の通りである。

◎ 栄養士として就職した者	24名
(内訳) 学校	2名
病院(官・民含む)	9名
社会福祉施設	11名
試験・研究室	1名
PR・栄養指導	1名